

キャラクター名 カシミロ	プレイヤー名
-----------------	--------

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[土、銀+2]		
生まれ	戦士	性別	男	年齢	分からない
冒険者Lv	13	経歴	役に立たない得意技がある		
経験点	2630		のめり込む趣味がある 異種族の街で育った		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	10	16		34 + 2	6				
体	13	敏捷度	10	12		30 + 2	5	コンジャラー	12		
		筋力	3	14		30	5	スカウト	3		
心	9	生命力	6	15		34	5	レンジャー	9		
		知力	10	5		24	4	エンハンサー	10		
		精神力	12	4		25	4				

戦闘特技				言語			会話	読文
追加攻撃	220 p	マルチアクション	IB39 p	交易共通語		○	○	
投げ攻撃	225 p	踏みつけ	IB31 p	魔法文明語		○	○	
カウンター	2120 p	頑強	IB29 p	ザルツ地方語		○	○	
鎧貫き	IB39 p	武器習熟A/格闘	IB31 p					
ルーンマスター	IB34 p	命中強化	IB32 p					
バトルマスター	3143 p							
治癒適性	2122 p							
不屈	2123 p							
ポーションマスター	2123 p							
魔法拡大/数	IB39 p							
投げ強化	IB30 p							

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ビートルスキン	
キャッツアイ	
マッスルベア	
ガゼルフット	
デーモンフィンガー	
スフィンクスノレッジ	
ケンタウロスレッグ	
リカバリィ	
メディテーション	
トロールバイタル	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	13	19	18	18
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート		15	1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー	合計値	19	4	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イージーグリップ	1H拳	1	2	2d+ 22	12	19	0										
投げの命中+1。ランク効果:命中更に+1。魔法の発動媒体																	
パワーアングル	1H#	10	-1	2d+ 19	9	19	15										
投げ	2H	0		2d+ 20	12	19	0										
グラップラー専用																	
セスタス	1H	1	1	2d+ 21	10	19	1										
グラップラー専用、パンチ強化、魔法の発動媒体																	
スパイクブーツ	1H#	1	-1	2d+ 19	10	19	11										
グラップラー専用、キック強化																	
パンチ	1H	0		2d+ 20	12	19	0										
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	39 m	117 m	2d+ 19	4	115	操霊魔法	12	16			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 0/X	2d+ 8	2d+ 18	2d+ 18	63							

装備品	説明	装備品	説明
頭 恨みの鉢巻き			
耳 先触れの印	後攻時相手に先んじて1度だけ補助動作		
顔 不敵の仮面			
首 血水晶のチョーカー			
背中 野伏のサーマルマント	炎・水氷ダメ-1	セービングマント	自動以外の抵抗失敗で魔法ダメージ-4
右手 宗匠の腕輪		左手 俊足の腕輪	
腰 多機能真・ブラックベルト		血晶石の腹帯	
足 韋駄天ブーツ			
その他 信念のリング			

その他メモ	自動失敗
ナイトメアとして生まれたために忌まれ捨てられたが、通りすがりのコボルドに拾われてコボルドの里で育てられた。手先が器用なコボルドに折り紙を教えたところのめり込み、特に連轉作りにハマった。今では立派な特技と言えるが役立ったことはない。	チェック
	□□□□⑤
	□□□□⑩
	□□□□⑮
大らかな里で育ったためか、生まれつきの性質なのか非常にぼーっとしている。その為途中で自分の年齢を数え忘れてしまい、今自分が何年生きているのか分からない。コボルドの寿命が短く世代交代が早かったのもあって、周りの者が自分より先に老いて死んでいくのはそういうものだと思っている。	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
自分の出自は知らないがコボルドの里の場所は覚えている。だが、例えまだその里があったとしてももう彼を覚えているものはいないだろう。	□□□□㉓
	□□□□㉔

